

補助事業者氏名

浄化槽設備士氏名

設置場所

免状(修了)番号

写真NO.	工程	チェックポイント	
	着工前写真	浄化槽設備士、標識板、工事看板及び埋設予定場所全体が、周囲の状況とともに写っているか。また、宅内配管工事費用及び便槽撤去工事費用を申請する場合は、工事看板及び水廻りを有する建物の外周とその付近の地面についても写っているか。	
		工事看板の設置場所・補助事業者名・交付決定日及び交付決定番号に誤りはないか。	
		浄化槽設備士は、ヘルメットをかぶり、正面を向いて、人物が特定できるか。	
	床掘り	全体を平坦に均した状態であるか。	
	栗石・砕石敷き	栗石又は砕石が全体に均一に敷かれ、10cm以上の厚みはあるか。	厚み $\text{cm}(\geq 10\text{cm})$
	配筋・コンクリート打設	底版コンクリート2次製品を使用する場合、対応機種に合ったものが使用されているか。 底版コンクリート2次製品を使用しない場合、コンクリートが全体に均一に打設され、底面全体の状況および厚み($\geq 15\text{cm}$)、配筋の間隔($\leq 20\text{cm}$)および硬化状況は十分か。	
	吊り込み	埋設される浄化槽の機種は正しいか。	
	水張り・水平確認	埋め戻し前か。	
		水張りをしながら、長辺方向及び短辺方向の水平確認を行っているか。	
		漏水が生じていないか。	
	埋戻し・水締め	水平が保たれているか。	
	転圧・埋戻し完了	埋戻しが終了した後、全体を十分突き固めているか。	
	上部スラブ配筋	配筋はマンホールの強度を十分考慮し、補強が的確に行われているか。	
	工事完了写真	浄化槽設備士が完了を確認していることが分かるよう、浄化槽設備士とともに着工前写真と同じ方向から、埋設場所全体が分かるように撮影されているか。	
	かさ上げ	コンクリートスラブが打たれ、マンホール枠の上端まで固定されているか(粗打ちの場合は仕上げ工事完了まで安全面に留意することを確認したか。)	高さ $\text{cm}(\leq 30\text{cm})$
		バルブの操作などの維持管理を容易に行うことができるか。	
	浄化槽稼働状況	嫌気ろ床槽のろ材及び接触ばっ気槽の接触材に変形や破損はないか。しっかり固定されているか。	
		ばっ気装置、逆流装置及び汚泥移送装置の変形や破損はないか。しっかり固定されているか。	
		空気の出方や水流に片寄りはないか。	
		消毒設備に変形や破損はないか。しっかり固定されているか。	
		薬剤筒は傾いていないか。	
		保守点検、清掃を行いにくい場所に設置されていないか。	
	ブロー設置状況	防振対策がなされているか。	
		固定が十分行われているか。	
		アースが必要な機種が確認し、必要な場合は接続されているか。	
		漏電のおそれはないか。	
	ポンプ槽	上部コンクリートスラブが打たれ、フロートスイッチのケーブルが絡むことのないよう設置されているか。	
		ポンプますに変形や破損はないか。	
		ポンプますに漏水のおそれはないか。	
		設計どおりの台数及び能力のポンプが設置されているか。	
		ポンプの固定が十分行われているか。	
		ポンプの取りはずしが可能か。	
	放流先	申請時又は変更等承認申請時と同じ公共の放流先か。	
		放流口と放流水路の水位差が適切に保たれ、逆流のおそれはないか。	
	台所専用升 <small>※クリーン升は内径のみ記入。別途仕様書提出のこと</small>	台所排水専用となっているか。	内径 $\text{cm}(\geq 30\text{cm})$ ・ 水深 $\text{cm}(\geq 25\text{cm})$ ・ 継足 $\text{cm}(\geq 15\text{cm})$
		油止め構造になっているか。	
	配管経路・各枳	汚物や汚水の停滞がないか。	
		生活排水が全て接続されているか。	
		雨水や工場排水等が流入していないか。	
		起点、屈曲点、合流点及び一定間隔ごとに適切な弁が設置されているか。	
	撤去写真	流入管きよ、放流管きよ及び空気配管の露出等により変形、破損のおそれはないか。	
		撤去予定のものが全て撮影されているか。	